

山下 先生

1年前 大変お世話になりました。毎週色々な事があり 電話相談の時に「お母さんの対応は良いですね」と言われるとホッとしました。祖父母の過保護、過干渉は今でも良くなつたとは言えません。私の対応で娘たちはそれでも強く大きくましく変化していき 今では毎日元気に「行ってきます」と登校でいきます。とても嬉しい日々を送っています。

2年前 長女は「学校が怖い」と行かなかったり始めました。私と祖母は学校であることを根拠り葉掘り聞きだそうとしましたが泣くばがうだったのを抱きかかえ学校に連れて行きました。それでも帰宅すると友達と遊んだりしていましたので 軽く考えていました。



しかし、11月の社会科見学から帰ると「疲れた」と言い、部屋に入って出てきませんでいた。夜中に何度もトイレに行き、30分以上出てこない、為聞と「力を入れても尿が出てこない、苦い」と言い、フラフラしていました。次の日病院受診するとストレスによる血尿と排尿困難と診断され、しばらくは登校するには無理だろうと言われました。

病気だから学校行くのを嫌がったんだ。治れば今までのように登校すると簡単に考えていました。学校に行っていない、為外出することも嫌がる友達が来ても会えなくなり、これはただの事ではないと家族で話していました。祖父母は私が甘やかしているからだと罵りました。夫は何も言ひませんでしたが色々調べていたようです。学校に相談してスクールカウンセラーの先生と会うことになると娘は目もあわせず下を向っていましたが、ゆくつ話を先生に心を許していくのがわかりました。



帰りには 自分から 先生の面談日を聞き、
先生の来る日は 学校に行くようになりました。
校長先生も とても心配してくれて 毎回娘に会い
に来てくれました。しかし 教室に入る事が出来ず
家では 部屋から出てこない日々は 冬休みまで続き
ました。冬休み前日の面談で 3学期からは登校
せず、と担任の先生に話して下さいました。休み中は
遅れた勉強や外出も どんどん積極的にしていました。
始業式 遅刻している 誰もいなし、教室に入り
先生の机に宿題を置くと 人の声が聞え
逃げるように 教室から出てきました。校長先生が
別室を用意してくれていて あいてる先生で 勉強を
しようと提案してくれて そこから毎日遅刻ながらも
学校へ行くようになりました。毎日一人ずつお友達
も会いに来てくれて、いたしました。友達と遊ぶこと
も増えて 行きましたが 3年生は 別室で すゞし
教室に入る事は 出来ませんでした。



別室とはいへ 学校に行くと元気に楽しそうにして
いる娘を見て 絶対に教室へ行けるようになら
と心づけになつ インターネットで色々調べはじめました。

その時に同じように悩んでいる方のmixiに出会い
ペアレンツキャンプに相談してみて！と教えていただき
ました。すぐに電話することはありませんでいた。

その時も 4年生になって クラス替えや担任が変われば
行けるだろうと思つて、たからず。

4年生になり 始業式こそ別室でしたが新しい担任の
先生や別室の先生が協力してくれて 教室へ入る
ことが出来ました。図書室にいた私へ報告に来て
先生と涙を流しました。しかし毎日登校は続き
毎朝 行きたくないと言われながら 食べ物や着る服
学校の用意を手伝つてもらつた。それで良のだろうか
と不安はオーナーもありました。そこでペアレンツキャンプ
に連絡したのです。今思ふともとと早くに連絡して

いたら娘は 3年生から教室へ行けたのにと思います



ペアレンツキャンփに 出会い、私たち 家族が子供へ
してきた事は ダメなことは「かりど」と気づき 対応を
変えたことで すぐに変化があらわれたのは下の娘
でした。 学校でも すぐに泣いていた娘は泣かなく
なり たれ物をしても 先生に言えるようになりました。
今では 「ただいま～」と かばんを置くとすぐに
「行こま～す」 暗くなるまで帰ってこない、遊んで
ばかりですが 毎日 元気い、はい 走りまわってます。
まっすぐ帰ってこないで どこかで遊びだりして、またか
少しぐらーの熱でも 平気に登校してます。 祖父母に
何が言われても 聞こえな、ふりや ロジたえをして
自分で決めるからと力強く言ってます。本当に嬉しい
変化です。

上の娘も 冬にインフルエンザで休んだのを最後に休ん
でいません。 祖父母に何が言われた時は 自分の部屋や
トイレに入つて いらいらしな、ふうにしてるようじ。

5年生は 儿童会の書記をやり、後期は報送委員に



なりました。頑張りすぎでは…と心配も「ママ私の
こと心配してるのは! 大丈夫だよ。もうみんなに辛い
のは無いよ」と。友達との関係も気にならぬ事な
くあります。寝る前に30分くらい私は
話すことで 明日も頑張ろうと思えてるようになります。
時々 口出しそうだなあと思う時も 娘たちは大丈
だからせえすぎなんやうに反省しています。私の対応
をまちがえなければ 祖父母は変わってくれなくて
ソリあんずは 大丈夫ないだ… 本当は変わってほしい
ですが…

こんなにも 対応で変化する娘たちが”これからも
楽しく 通学出来ることを願って 頑張ります。

本当にありがとうございます。

